① 学校関係者評価委員会報告書

各学校関係者評価委員から

◎（学校関係者評価委員長）（学識経験者）

校長先生による「令和６年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて次年度〈令和７年度〉に向けた改善方策」を検証する。

【生徒】
１ 学習指導
①　ＩＣＴの効果的な活用
② 板書やプリントの工夫
②　自分で考えたり、友達と考えたりする時間
①と②と③の肯定的評価を９０%以上を目指す。
結果は、①が８９%、②は９１%、③は９２%、達成したといえるのでは。
進路学習指導主任と校内研究推進委員会を軸に、教師の授業力向上をさらに目指してほしい。
２ 生活指導
先生と生徒の良好な信頼関係の構築が伺える。生徒の規範意識が高い。
３ 学校行事
毎年、満足度が非常に高い。
４ キャリア教育
昨年度より新しい質問項目「学ぶことが楽しい」については、８０%以上を目指した。 昨年度が７１%で今年度は７６%と向上したが、目標値には達しなかった。各教科の授 業の中で学んでいることが世の中とどのようにつながっているかをさらに示していく必 要がある。
「キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している」の肯定的評価を７０%以上を目指した。結果は６７%でわずかに届かなかった。進路学習指導主任を中心に改善策をさらに検討する。
５ 先生について
「ＨＩＧＡＳＨＩ絆タイム」は、先生にとっては大変だが継続してほしい。
６ 全般について
学校生活が楽しく〈９２%〉達成感〈９３%〉があるという評価が高くなっている。 すばらしいことである。学び舎の項目の肯定的評価を５０%以上を目指したが、今年度 は、この項目がなかったのであろうか。

【保護者】
１ 学習指導
ＩＣＴの活用を高く評価している。
２ 生活指導
保護者は、先生の指導を信頼している。自分の子どもや他の生徒から落ち着いた校風を感じている。
３ 学校行事
高評価であり生徒の成長に学校行事が大きく関わっていることを理解している。
４ キャリア教育
肯定的評価を、７０%以上を目指したい。
キャリア教育の情報発信をしていく。
５ 教職員
教職員への保護者の厚い信頼が伺える。

6 全般

生徒が学校生活を楽しく達成感を感じていると強く思っている。

7 情報提供

高評価である。各たより、ホームページでの情報提供の充実と学校公開や保護者会の充実を図る。

8 学校運営

「指導の重点」の周知は難しい。ポイントを簡潔に説明できると良いが。

9 家庭と学校の連携

「学校公開にすすんで参加している」項目で肯定的評価が、昨年度６１％から今年度７４％に上昇した。あらゆる機会での情報発信の成果か。

10 地域との連携

地域と学校との具体的な協働行事等を情報発信していく。

11 学校の安全性

近年ますます地震等の自然災害時の対応について求められている。啓蒙と実践が必要である。

12 独自項目

保護者は、自分の子どもは正しい判断で行動ができ、良好な人間関係を結ぶことがで きていると思っている。

【地域】

地域と学校との情報の共有化。学校から地域への積極的な情報発信。地域行事への学校・生徒・保護者の参加促進等の成果か高評価である。「ホームページをチェックし ている」を伸ばしたい。

● 校長先生の改善方策で、保護者と地域のアンケートの回答率を上げるとあったがどう なったでしょうか。

◎（学校協議会会員）

【生徒】

学校での学習指導、生活指導、先生についての３項目すべての評価が高く、生徒と先生、生徒と学校が一つになって運営され、学校での生活を楽しんでいると思われます。高い評価の中でキャリア教育については少し目標に達しなかったかもしれませんが、昨年よりも『学びが楽しい』が５ポイント、『私はキャリアパスポートに書いた目標について考えて行動している』は１０ポイント上がっています。生徒にとって通いやすく学びやすい環境なのだとわかります。

【保護者】

各学年とも生徒と保護者のアンケート結果について項目によってはかなりの温度差がありますが、教職員についてと学校からの情報提供についてはかなり高い評価をいただいております。このことで、より学校の運営と生徒の様子がわかると思います。家庭と学校の連携については保護者の方も仕事で時間が取りづらくなっていますが、ホームページを始めとする学校側からの情報提供を積極的に取り入れていると思われます。

【地域】

地域の方の評価は肯定的回答が多く、学校と地域が連携している様子が伺えます。ただ、学校のホームページを閲覧しているかは否定的回答でした。子どもが大きくなり身近でなくなると、関心がなくなるのだと思います。

今回で評価委員として最後の分析となりましたが、東深沢中学校の生徒は学校生活が楽しく、そして先生たちのご指導を素直に受け入れているようです。これも校長先生を始め、先生方の熱い思いが直に伝わっているかなと思います。そして学校周辺においてもきれいに清掃し、花壇にも四季の花がきれいに咲いています。このような環境を維持できる支えになるよう、私たち地域も頑張ります。今後とも地域活動をよろしくお願いいたします。

◎（学識経験者）

【生徒】
本年度も、学校生活全般に肯定的な意見が多く、魅力的な学校であることがうかがえました。特に、次の２点に注目しました。

１点目は、「学ぶことが楽しい」という学習に関する項目です。1～3 年生で一貫して約 70%が肯定的に回答しており、「楽しい授業」を重視した取組みの成果が表れています。ICT の活用や話し合い・発表を取り入れたアクティブな授業も約 90%と高く評価される一方、否定的な意見も約 25%前後見られ、さらなる工夫が課題です。

２点目は、多様性や思いやりなど、他者への寛容に関する評価です。約 90%と高く、心優しい生徒が育成されていることがうかがえました。この学校方針を継続することで、同時に「自分自身の良いところを理解している」という項目についても、今後の向上が期待されます。

【保護者】
今回の結果からは、家庭と学校とのつながりに改善が見られた点が特徴的でした。学校からの情報提供に対する満足度も 90%以上と高く、学校公開に加えて「保護者会」への参加が評価項目に含まれたことで、生徒の様子が分かるという肯定的な意見が増加したものと考えられます。

一方、今後の課題としては、学校の指導の重点方針について、保護者への効果的な発信方法を検討していく必要があると思いました。学校の方針を保護者とより共有することで、家庭での連携やサポートにつながり、例えば「自ら考え行動する」などの意識の向上が期待されます。

【地域】
本年度も、これまで築き上げてきた地域との信頼関係を基に、活動が充実していることがうかがえました。今後の関係の維持、発展には、さらなる情報の共有が重要であると考えられます。アンケート結果から、地域の方々はホームページを自ら閲覧するよりも、学校便りなど送付される情報から学校の様子を知る方が効率的であることが伺えました。送付物は時代遅れと捉えられることもありますが、高齢者が多い地域の実情に加え、送付物はその時点の最新情報を確実に伝えられる利点もあるため、今後も継続した情報発信が望まれます。

◎（卒業生代表）

【生徒】
本年度のアンケートも高評価となっています。
「授業では、考えたことを話し合ったり、発表しあったりする機会がある。」の項目では
A. とても思う の評価が昨年度より１割増えています。
学校の重点目標の一つでもある、「私は、多様性を理解し思いやりの心や認め合う心をもって友だちや他の人と接している。」の項目でも、高評価が９割を超えています。
上記２項目とも２年生の評価が特に高いため、１年生からの継続した学習の成果だと思われます。
「学ぶことが楽しい」の項目は、全体の中では肯定的な評価が低くめになっています。
学び＝勉強と考える生徒も多いかと思いますので、楽しいと答える割合は少ないのかもしれませんが、学習指導についての項目は評価が高く、先生の指導力や授業への工夫が感じ取れますので、今後の向上に期待をしております。
「学校行事」は例年通り高評価となっています。
中学校生活３年間の大切な思い出作りになっていると思いますので、今後も楽しくやりがいのある行事をお願いいたします。

【保護者】
　保護者アンケートも高評価となっています。
「本校は、タブレットなどの ICT を利用した授業をしている。」の項目では、昨年より肯定的な評価が 2 割を超える増加となり、E. 分からない への回答がその分減っています。
「学校からの情報提供について」の各項目への A 評価が大幅に増えていますので、学校からの発信が分かりやすく丁寧に行われているのだと思われます。
「学校の指導の重点を理解している」への回答は、例年通り C. あまり思わない が全学年で多い傾向です。こちらの発信も工夫をして行っていただければと思います。

【地域】
地域アンケートは昨年度よりもさらに高評価となっています。
昨年度多かった、E.　分からない への評価が今年度は大きく減り、肯定的な評価が増えました。その中でも「地域の人材活用」・「生徒のあいさつ」・「生徒のボランティア活動への参加」への評価が高くなりました。
生徒や教師を含めた中学校と地域との関わりがとても深くなっていると感じられます。
「本校は、地域との連携を大切にしている」への肯定的評価も 9 割を超えていますので
今後も地域とのつながりを大切にしていただければと思います。

◎（前 PTA）

【生徒】

1. 学習・学習指導について

　学習の楽しさについては、学年が上がるについて数値が減少しているが、難易度が上がることが主な理由と考えられる。楽しさを問うのであればもう少し質問に具体性を持たせてはどうか。

　アンケート結果でもわかるように ICT 端末の活用により授業内の個別最適化は進んでおり、生徒の満足度も高い。話し合いを中心とする探究学習も、生徒の評価が高く、学校の重点目標に沿った指導ができていると感じる。以前と比較し、プリント等の紙面を使用する機会は減っているが、記述する力を養うことも非常に重要であり、そのための工夫を期待したい。

2. 生活指導について

　アンケートでは学校のルールや先生の指導について、高学年になるほど納得いかない部分も出てくるようである。どうしてそうするのかをしっかり理解させ、相応しくない内容（生徒が理解できない内容）変更するなど学校側としても対応策を考えていくことが望ましい。

3. キャリアパスポートについて

　キャリアパスポートについては、毎年評価が難しい項目ではあるが、高学年になるほど自分の将来について、目標を意識して行動している様子は現れている。

4. 先生について

　学校行事の達成感の高さや学校生活が楽しいと回答している割合が高水準であることからも、先生との信頼関係が構築されていると評価できる。一方で相談しやすさを問われると評価が低くなることから、担任にこだわらず心理的なハードルを下げるための方法を模索していく必要性を感じる。

5. その他について

　どの学年においても多様性に対する理解は高く、教育の効果が現れている。今後も継続した取り組みに期待する。

【保護者】

1. 学習指導・生活指導について

　アンケート結果でもわかるように学習指導においても生活指導においても保護者のほうが「できていない」という評価がされているようである。ICT 端末の活用については、保護者の

関心度も高いようであるが、探究的な授業についてはイメージがわきにくいのかもしれない。ICT 活用についても家庭との連携を強化し、具体的な学習内容の提示や、自主的で効果的な家庭学習に向けた支援を期待したい。

2. キャリア教育について

キャリアパスポートについては、生徒同様、保護者レベルでも子どもの目標について意識できていない様子が伺われる。家庭とも連携し、子どもたちが何を目指すのか、目指したらよいのかを描けるような方法を模索したい。

3. 先生について

生徒同様に、学校行事や学校生活が楽しいと回答している割合が高水準であることから、先生に対する満足度も高い傾向にある。高学年に進むにつれ多少評価が下がっているが、1 年時の満足度を継続できるよう期待したい。

4. 情報提供について

全般的に評価が高く、満足度は高いと思われる。紙面とデジタルの両面での情報提供となっているが、今後は可能な限りデジタルに統一して整理していくことを進めてほしい。

5. 地域との連携について

全般的に保護者の評価が高く、学校が地域に溶け込んでいる状況がみられ、学校の重点目標である地域と連携・協働した教育活動が推進できている。この面においても家庭と連携し、地域の教育力を学習や行事に活かしてほしい。

【地域】

1. 学校行事について

行事に関する充実度は高いものの、足を運べるのは一部の人に限られている。

2. 情報提供について

紙面での情報提供に評価が高いことに比較するとホームページの閲覧はあまりされていない。学校運営に関わる年代が比較的高齢な方となっているのは理解できるが、デジタルツールを使用できる幅も広がっているため、情報提供も紙面に限らずデジタル配信を推進していく必要性を感じている。

3. その他について

あいさつやボランティア参加について「あまり思わない」以下の評価が他の評価事項に比較して大きかった。基本的な習慣が身につくよう地域との連携を継続し、あいさつ運動など今後も継続して実施してほしい。